

Let's go! 冬の探険隊

単元構成 (30時間扱い)

単元構成の意図	主な学習活動・子どもの意識の流れ
<p>1 冬の困難な中を敢えて探険するおもしろさを大切にす。</p> <p>2 3年生は、生き物の様子に目が向く子が多いと思われるが、最初から全員を生き物だけに目を向けさせるのではなく、各自の発見を大切にす。</p> <p>3 体験したことをそのままにせず、探険ブックにまとめさせることにより、自分の追究のよさが明確になる。また、自分の「学び」の道筋が見えるようになり、確かな認識につながる。</p> <p>4 春夏秋を通じて、附属山の生き物の様子に目を向けさせ、附属山マップに生き物の様子を記録しておく。(総合「鳥さんいらっしやい」理科「昆虫の体のつくり」などの学習で)</p> <p>5 子どもたちの問いをくり冬生き物の様子に焦点化する時間である。この時間を通じて仲間共感と吟味を経ることにより、子どもたちの問いが一層深まり、より価値ある「学び」が実現されていく。</p> <p>6 問いは共通のものとなるが、(具体的な解決への見通しにつながる)各自の問題意識は、これまでの探険の中で目を付けていたものに向けて行く。</p> <p>7 探険隊という流れを大切にす、自分の新たな問題解決に必要な道具や装備は自分で考えさせる。</p>	<p style="text-align: center;">冬探険その1(あいの里生き物篇) ～生き物たちの冬を探る～</p> <p style="text-align: center;">< 1 > あいの里探険隊 (第一次探険隊)(5コマ)</p> <p style="text-align: center;">雪がたくさん積もったよ! あいの里は真っ白だ!</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学校の裏の方はどうなっているかな? 見に行きたいな!</div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">↔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">雪に埋まってしまっていて行けないよ</div> </div> <p style="text-align: center;">探険隊を作ろう 雪の中でも進んでいくのが探険隊だ!</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">あいの里の探険に出発! (第一次探険)</div> <p style="text-align: center;">あいの里緑道一周コースに挑戦(2コマ×2回)</p> <p style="text-align: center;">一面の雪原 田畑も真っ白 結氷した茨戸川</p> <p style="text-align: center;">枯れ枝 生物の気配少 トンネウスの鳥...</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">夏のときとはずいぶん様子が違うぞ</div> <p style="text-align: center;">それぞれに発見したことを記録しよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">自分だけの探険ブックを作ろう</div> <p>本時 < 2 > 附属山の生き物は死んでしまったのか?(1コマ)</p> <p style="text-align: center;">夏の附属山と冬の附属山を比較</p> <p style="text-align: center;">冬はなにもない死の世界? だって寒いから!</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">冬の附属山は、本当に生きていますか?</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">生きていますよ! 命がたくさん!</div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">↔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ほとんど死んでいますよ!</div> </div> <p style="text-align: center;">緑はあるか?(探険の時雪穴の中に...雪の下に) 動いている物はあるか?(足跡が...でもペットかも?) 虫はどこに?(毛虫を見つけたよ...でも他の虫は?) 種として生きていますか? 根だけが生きていますか?</p> <p style="text-align: center;">雪は冷たいから死んでしまうのではないかと 雪や寒さにあわせて生き延びているのではないかと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">冬の附属山の生き物を自分なりの方法で探したい!</div> <p style="text-align: center;">自分の調査ポイントを決める 調査に必要な道具・方法を決めよう</p> <p style="text-align: center;">< 3 > 附属山生き物調査作戦(第二次探険)(2時間)</p>

8
はっきりするもの、はっきりしないものについての扱いを大切にしたい。本当に本当のことを求めて学ぶ姿がここにあらわれると考える。

9
納得のいかない場合は、専門の大学の先生(並川先生)に聞きに行く活動も考える。

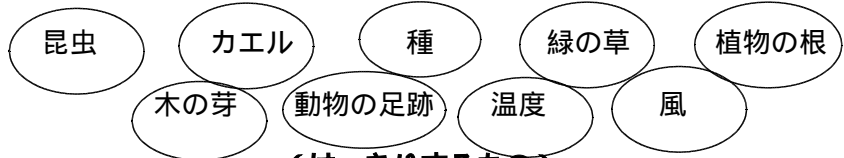
9
生き物から人間へ視点の転換を図る。

10
まず自分の生活を振り返る

11
次にそれぞれの家庭の冬越しの工夫を調べる。

12

自分の調べてみたいものは？



(はっきりするもの)

土の中にたくさんの虫がいるぞ
雪の下の方があたたかいぞ！
木の芽の中は緑色だ！いい匂いがするよ！

(はっきりしないもの)

この種や根は本当に生きているのかな？
あたたかい教室に持っていけば芽が出るのでは？

種からも根からも芽が出てきたよ

やっぱり附属山は生きている！

生き物は雪や寒さに上手くあわせて生きているんだね！

もっと寒くなったらどうなるのだろう？

生き物と同じように人間も雪や寒さにあわせているのかな？

冬探険その2(さっぽろ人間篇) ~人間の冬を探る~

<1>冬の暮らし探険隊(4コマ)

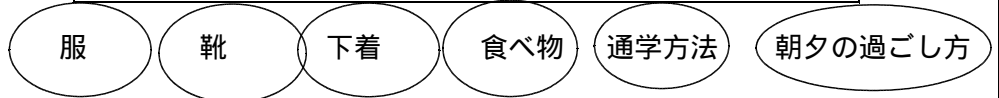
僕たちは、雪が降るとますます元気いっぱい！寒くてもへっちゃら！

人間は冬に強いのだ！



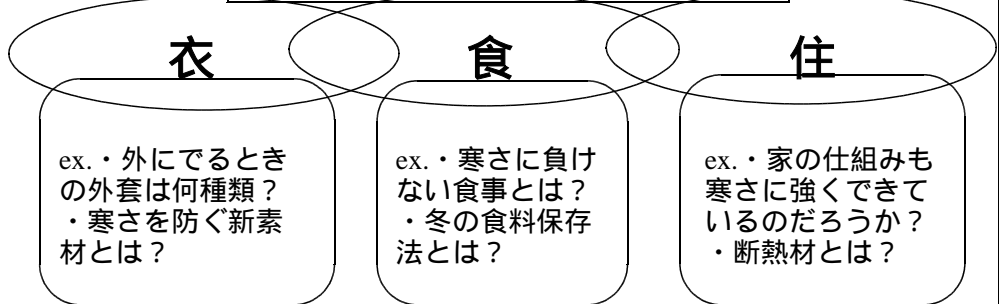
えっ、本当？僕たちだって
冬と夏では生活の仕方が違うよ

自分たちの夏と冬の生活はどんなところが変わっているかな？



人間も冬を越えるためにいろいろな工夫をしているはず！

自分の家の冬対策はどうなっているのかな？



我が家のオリジナル冬対策発表検討会

冬を越すために大変な苦勞をしている、お金をかけている。

人間と他の生物の違いは、冬という過酷な環境を積極的に楽しみとして生かしていることである。また、楽しみだけでなく、大量の雪解け水を利用した稲作など雪や寒さを生かした活動をしているのも特筆できることである。

13
通常の完全な自由研究だけでなく、教師のかかわりをより重視した自由研究のあり方も探っていきたい。

14
全員がこのテーマでなく、冬に関することであれば枠を広げていきたい

15
負担加重にならぬよう、また、楽しんで追究できるようにアドバイスする。

16
冬休み明けには、あいの里地区の最大積雪期を迎える。この大量の雪を生かして探険を繰り広げていきたい。探険そのものが楽しみでありかつ知的な営みになるように関わりたい。

人間にとっても冬は大変だ
冬がない方がいいのかな？



僕たちは冬が楽しみだ！

生き物と違って、人間は冬を利用したり楽しんでいるのではないか？

雪や寒さを宝物だと考える人はどんな人かな
雪や寒さで困っている人はどんな人かな？

本当にそうだろうか？
冬休み自由研究で調べてみよう

< 2 > 冬の人間自由研究探検隊 (4コマ)

課題は、先生や家族と相談して決めよう

お父さんの冬
お母さんの冬
おじいちゃんの冬
おばあちゃんの冬
農家の人にとっての冬
工場の人にとっての冬
バスの運転手さんにとっての冬
新聞配達のひとにとっての冬
スキー場の人にとっての冬
地下鉄の人にとっての冬
学校の渡辺さんにとっての冬
給食室のおねえさんにとっての冬
先生にとっての冬

人間の冬 自由研究発表検討会

冬を上手く利用したり、楽しんでいる人たちがたくさんいるね

僕たちももっともっと冬を探険して楽しみたい

冬探険その3 (大雪探険篇) ~ 大雪を楽しみながら探る ~

< 1 > 大雪のあいの里探険隊 (2コマ)

1月になり冬休みが終わってすごい雪の量だ！

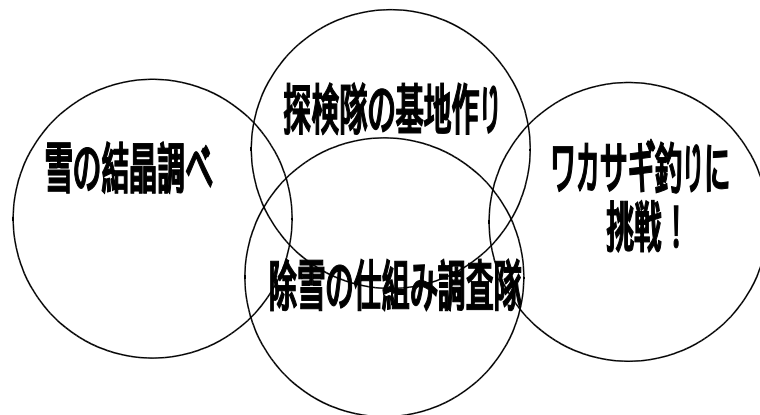
附属山やあいの里緑道はどうなっているだろう？探検隊出発！

やっぱり雪の中はあたたかい生き物はちゃんと生きているよ
茨戸川はすっかり凍っている。ワカサギ釣りをしている人がいるぞ！

それにしてもすごい雪だ！形が見えそうだよ

これだけの道路の雪をどのように除雪しているのかな？

大雪探検隊で挑戦することを決めよう！



17

半分選択制である。
自分の最も試してみたいことについては、責任を持って実行の方法を調べ、みんなに教えることにする。
実施は全員で行う。

自分の一番試してみたいことはなに？

計画を立てて調べみんなに教えてあげよう

18

担当者はモデルを試しに作ってみる。試行錯誤の結果担任や父親に相談する。

< 2 > 探検基地作り (4コマ)

2班(8人)が入れる基地(かまくら)を作ろう

自分たちの力ではうまくいかない

いい方法はないかな？

雪の積み方は？ 屋根のかけ方は？ 入り口の向きは？

作戦図を作ろう

先生やお父さんと相談しよう

作る時は土曜日にして、お父さんたちに手伝ってもらおう

19

実際には、土曜日に保護者の力も借りて作成

20

場所は、校舎南側の目の届くところ。屋根はグラウンドシートで作って危険を避ける。

21

担当者が、ワカサギ釣りのコツを調べてくる

< 3 > ワカサギ釣り (5コマ)

ワカサギを釣って、基地で天ぷらにして食べよう！

ワカサギ釣りの名人を捜せ

名人にコツを教えてもらおう

みんなで釣りに行こう

基地で天ぷらにして、給食といっしょに食べよう

22

保護者の協力を得る

23

担当者が試行錯誤を重ね、良い方法を見つける。

< 4 > 雪の結晶調べ (2コマ)

雪の一粒の形は？

丸い形？ 四角い形？ 六角形？ 星形？

雪の形を見るにはどうしたらいいのだろう

虫眼鏡で？ 顕微鏡で？

札幌市は、200万人近くの人々が生活している年としては、世界一降雪量の多い都市である。その除雪システムの一端に触れさせたい。ここは、教師の願いの非常に強い部分である。

すぐ解けないようにするには？

すごい！きれいだ！

みんなで見よう

< 5 > 除雪の仕組み調査隊 (4コマ)

除雪の仕事で不思議なことをまとめてみよう

除雪の仕事は誰がやっているのだろう？誰に聞けばいいかな？

僕たちに教えてくれるだろうか？
頼んでみよう！

みんなで土木現場や雪堆積場を見学に行こう

まとめ (1コマ)

探険 BOOK を整理してまとめよう

自分の探険 BOOK を2年生の友だちや家族に見せて
探険の様子を教えてあげよう。